

〔科目名〕 生徒指導の理論と方法	〔単位数〕 1 単位	〔科目区分〕 教職科目 (必修)
〔担当者〕 内 海 隆 Uchiumi Takashi	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業時に提示 場所: 504 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 学校は、生徒にとって教科を学ぶ場であると同時に人格形成の場でもある。この人格形成をさまざまな形で指導・援助しようとするのが生徒指導の基本である。 本講義では、人格形成の途上にある生徒を理解することからはじめ、できる限りの確かな生徒指導・援助するための手がかりとなる実践的知識と方法を教授する。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 教科を学ぶ学習指導と生徒の人格形成を支援する生徒指導は、教育の要である。その生徒指導は、生徒一人一人が集団生活において円滑に適応し、学習活動を維持していく上での基盤となるものである。その意味で、これから履修する「教育方法論」や「特別活動の理論と方法」、「進路指導の理論と方法」などの科目と密接に関連するので、今後の学習を効果的に進めるためにも大切である。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 生徒指導とは何か、生徒指導の意義という基本的なことを、単なる理論上だけでなく、実際の教育現場にあるという立場で理解し、考えていけるようになることを中間目標に設定している。 最終目標は、生徒指導を効果的に進めていくための具体的な方法(例えば、授業場面、特別活動場面における生徒との向き合い方、父母や地域の関係機関等との連携の取り方など)について、実践的な場面に即して対応できるようになることを想定している。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 講義では、できる限り参考となる事例を提示しながら授業内容に深みを持たせるように工夫する。また、事前に講義内容をまとめたプリント冊子を配布するので予習・復習に活用してほしい。		
〔教科書〕 使用しない。講義内容に関して講師が作成した「プリント」(冊子)を事前に配布する。		
〔指定図書〕 文部科学省『生徒指導提要』(平成 22 年 3 月) * 入手することを勧める。		
〔参考書〕 講義の際に随時、紹介する。		
〔前提科目〕 「教職概論」(1年次春学期開講科目)は、履修していることが望ましい。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 毎時の授業への参加態度をはじめとする個人での発表(2割)のほかに、評価レポートを提出(8割)してもらい、総合的に評価する。		
〔評価の基準及びスケール〕 A: 100～80 点 B: 79～70 点 C: 69～60 点 D: 59～50 点 F: 49～ 0点		
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 生徒指導に関する理論だけでなく、学校現場でのアップツーデート事柄も取り上げるので、自分たちの中・高校生時代の生徒指導場面や出会った先生方を思い出ししながら、どう生徒と向き合うことが望ましいのかを各自が考えてほしい。		
〔実務経歴〕 該当なし。		

授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション(講義の概要と進め方) 内 容: 生徒指導の意義 生徒指導とは何か 教科書・指定図書 配布プリント
第2回	テーマ(何を学ぶか): 生徒指導の歴史と理論 内 容: 生徒指導の歴史 生徒指導の理論的背景 教科書・指定図書 配布プリント
第3回	テーマ(何を学ぶか): 学校における生徒指導 内 容: 生徒指導の組織的対応(「チーム学校」) 教科等における生徒指導 教科書・指定図書 配布プリント
第4回	テーマ(何を学ぶか): 生徒理解と生徒指導 内 容: 生徒理解の観点 問題行動の理解と分類 教科書・指定図書 配布プリント
第5回	テーマ(何を学ぶか): 生徒指導の事例(Ⅰ) 内 容: 中高生における問題行動(薬物、性の逸脱行動、長期欠席・不登校、引きこもりほか) 教科書・指定図書 配布プリント
第6回	テーマ(何を学ぶか): 生徒指導の事例(Ⅱ) 内 容: 教育現場でのいじめと「いじめ防止対策推進法」 自律神経症、発達障害(特別支援教育に関する合理的配慮ほか)への対応 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): 生徒指導の課題と動向 内 容: 生徒指導と道德教育 生徒指導とキャリア教育 ティーチングとコーチングについて 教科書・指定図書
試 験	実施しない。課題レポート提出